

第3学年 美術科

1. 学習のねらい

| | |
|--------|--|
| 学習のねらい | ① 自然や身近なものなどのよさや美しさに対する関心を持つ心を育てる。 ② 感性や想像力を働かせ、自然や身近なものを観察し、よさや美しさを感じ取る力を身につける。 ③ 表現意図に合う多様な表現方法を工夫し、美しく表す力を身につける。 ④ 自然、美術作品や生活の中の造形などに親しむ心を育てる。 |
| 使用教材 | 《教科書》 光村図書出版 美術2・3上 美術2・3下 《使用教材》美術資料（秀学社） 《使用道具》ポスターカラーセット、鉛筆、彫刻刀、色えんぴつ、カッターナイフ |

2. 評価の観点及び方法

| | | |
|---------------|---|--|
| ①美術への関心、意欲、態度 | 「美術的な活動に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができる」 ・楽しく生き生きと表現しているか。 ・向上しようと創意工夫し努力しているか。 ・鑑賞することを楽しんでいるか。 | 【授業中の発言、態度】 【活動状況】 【作品における感想】 【定期テスト】 ・自分から積極的に学習に取り組むことができるか。 ・粘り強く取り組むことができるか。 ・準備物や用具の取り扱い、片付けができるか。 |
| ②発想や構想の能力 | 「感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどをもとに、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をすることができる」 ・自分らしく生き生きとした表現の構想を練っているか。 | 【作品制作の下絵（アイデアスケッチ）など】 【途中作品や完成作品】 【定期テスト】 ・自分のイメージをさまざまな角度から考えることができるか。 ・イメージしたものを表現することができるか。 |
| ③創造的な技能 | 「表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表すことができる」 ・美しく創造的に表現しているか。 | 【製作過程の中での材料や用具の使い方】 【途中作品や完成作品】 【定期テスト】 ・さまざまな表現を工夫し、より良いものに創意工夫することができるか。 ・材料や用具の特性を生かし、表現することができるか。 |
| ④鑑賞の能力 | 「作品に親しみ、感性や想像力を働かせて、よさや美しさを感じとったり味わったり、理解したりできる」 ・いろいろな見方や感じ方や発想の仕方、知識等を学びとり、多様な表現の工 | 【授業中の発言、発表】 【鑑賞ワークシート】 【作品における感想】 【定期テスト】 ・作品を鑑賞し、よさや美しさを |

| | | |
|--|-------------------------|--|
| | 夫、よさや美しさなどを感じ取り味わっているか。 | 感じとることができるか。 ・作者の思いや意図を感じとり、自分の言葉で表現できるか。 ・自分の作品を鑑賞し、評価できるか。 |
|--|-------------------------|--|

3. 年間計画

| | 各単元と主な内容 | 観点別評価の具体例 |
|---------|---------------------------------------|--|
| 1 学期 | ・感じたことを話し合おう(鑑賞) | 自分の経験や価値意識を基に鑑賞することに関心をもつ。 (関) 作品を見て感じ取ったことを話し合う。(鑑) |
| | ・美術、人と人をつなぐ力(鑑賞) | 美術が社会や生活にもたらす力に注目する。(関) 社会や生活の中で働く美術の例を探し、話し合う。(鑑) |
| | ・環境と共に生きる造形(絵画・彫刻) 「木彫時計」 | 人が集まる場所に置かれている作品に注目する。(関) 置く場所や作品を取り巻く光や風などを考えて構想を練る。 (発) 置く場所に合う形や材料を考え、スケッチなどにあらかず。 (技) 作品と場所との関係に注目しながら鑑賞する。(鑑) |
| | ・自画像、今を生きるあなたへ(絵画・彫刻) 「絵手紙～今のわたし～」 | 自分の気持ちを見つめ、作品にあらかずすることに関心をもつ。 (関) 今を生きる自分や将来になりたい自分を基に発想を広げる。 (発) ふさわしい表現方法や材料を選び、工夫してあらかず。(技) 作品と言葉を合わせて鑑賞し、感じ取ったことを話し合う。 (鑑) |
| 2 学期 | ・東西の空間表現(鑑賞) | 奥行きや空間の表現に注目する。(関) 西洋と東洋の表現の違いや特徴について調べる。(鑑) |
| | ・視点を組み合わせて(絵画・彫刻) 「透視図による構成」 | 視点を組み合わせることで生まれるおもしろさに注目する。 (関) 視点や構図、遠近のあらかず方を考えながら構想を練る。 (発) 材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫する。(技) 空間のおもしろさや表現の工夫について話し合う。(鑑) |
| 3 学期 | ・大地と海の贈り物(鑑賞) | 風土によってはぐくまれてきた地域の文化に目を向ける。 (関) 自分が暮らす地域の文化について調べ、話し合う。(鑑) |
| | ・共に作る喜び(絵画・彫刻) 「切り絵」 | みんなで思いを込め、作品の完成に向かって取り組む。(関) 友達と話し合いながら構想を練る。(発) 下絵の段階で検討を重ね、分担を考えて取り組む。(技) 完成した作品を鑑賞し、感想を話し合う。(鑑) |